

納入仕様書

PL - HD 2 2 0

開発本部

| 承認 | 照査 | 作成 |
|----|----|----|
| 武本 | 山崎 | 片山 |

株式会社 デジタル

はじめに

PL-HD220 (HDD ユニット) は(株)デジタル製パネルコンピュータ (以下 PL と称します) 用のハードディスクユニットです。2.5 型 20G バイトハードディスクを搭載しています。

対応機種 : PL-5900 シリーズ、PL-X900 シリーズ、PL-X920 シリーズ
下記のほか、本書に記載の商品名は、各社の商標・登録商標です。

MS-DOS, Windows : 米国 Microsoft 社

安全に関する使用上の注意



- PL への取り付け時は感電の危険性がありますので、PL に電源が供給されていないことを必ず確認して取り付けてください。
- PL-HD220 は改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- PL-HD220 を取り付ける際には、本書の「3.PL-HD220 の着脱」をよく読んで、正しく取り付けてください。

故障しないために

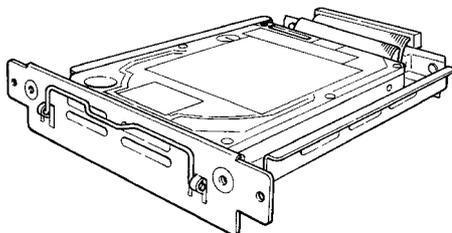
- PL-HD220 は精密機器ですので、衝撃を与えないでください。特に開梱後は倒したり、ぶついたりしないでください。また、操作盤等に、PL-HD220 を搭載した PL を取り付けられた状態での輸送は絶対におやめください。
- PL-HD220 に水や液状のものや金属が付着しないようにしてください。故障や感電の原因になります。
- 直射日光に当たる場所や高温の場所、ほこりの多い場所、振動の加わる場所での保管および使用は避けてください。

- ・ 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管および使用は避けてください。
- ・ 修理や改造を行わないでください。
- ・ PL-HD220を組み込んだシステムの通電中の持ち運びは絶対におやめください。
- ・ 腐食性ガスの発生する環境では使用しないでください。ハードディスク本体が破損します。
- ・ ファイル破損を防ぐため、必ず正しい手順でOSを終了してからコンピュータの電源を切るようにしてください。

梱包内容

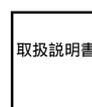
梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

PL-HD220 本体



取扱説明書 1 枚

PL-HD220 取扱説明書



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気づきの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

1 ハードウェア仕様

性能仕様

| | |
|----------|---|
| 総記憶容量 | 20Gバイト |
| 平均シーク時間 | 12msec(TYP) |
| 消費電力 | 起動時 4.7W(MAX) R/W時 2.0/2.1W(TYP) 待機時 0.65W(TYP) |
| インターフェイス | ATA |
| 寿命 | 5年間または20000時間（通電時間） のいずれか早い到達期限まで |

- 重要** ・ HDDユニットには、寿命があります。万一のHDDユニットの故障も考え、定期的なデータのバックアップや交換用HDDユニットの用意をお勧めします。
- ・ HDDユニットの寿命は使用条件や環境により前後します。上記値は参考値です。

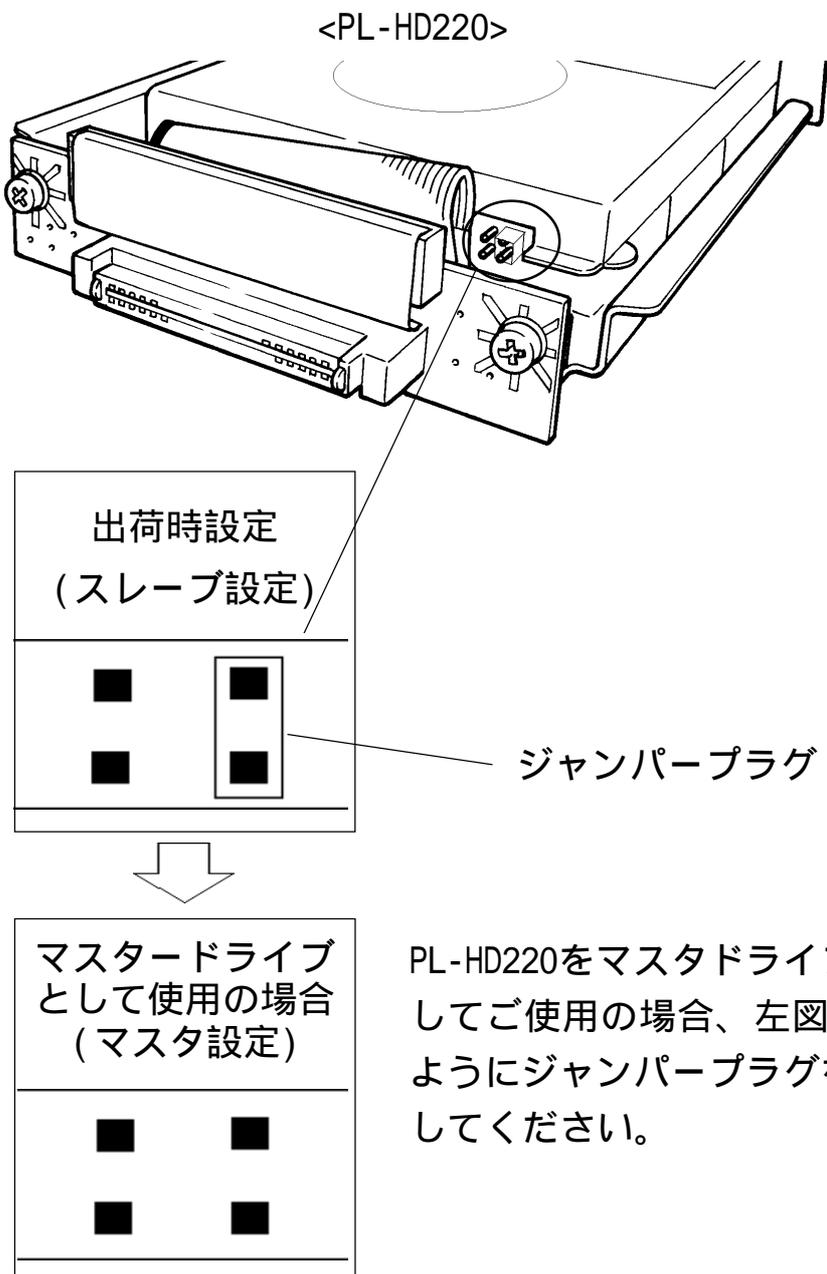
環境仕様

| | |
|-------------------------|---|
| 使用周囲温度 | 5 ~ 50 |
| 保存周囲温度 | -10 ~ +60 |
| 周囲湿度 | 10 ~ 85%RH (結露のないこと、湿球温度29 以下) |
| 耐ノイズ性 (ノイズシミュレータによる) | ノイズ電圧：1500Vp-p パルス幅：50ns、500ns、1 μ s |
| 耐静電気放電 | 6kV |
| 耐振動性 | 動作時 4.9m/s ² (10 ~ 25Hz) |
| 耐衝撃性 | 輸送時 3920m/s ² (1ms、正弦半波) |

- 重要** ・ 環境仕様はPLに組み込んだ場合の仕様です。
- ・ 本製品を使用して格納したデータが、ハードディスクの故障や誤動作・その他どのような理由によって破壊された場合でも、(株)デジタルはデータの保障をいたしかねます。万々に備えて、重要なデータはフロッピーディスク・光磁気ディスクなど適切なメディアにあらかじめバックアップされるようお願いいたします。
- ・ ハードディスクは寿命部品です。性能仕様の寿命データをご配慮の上、保守、メンテナンスを計画的に実施していただきますようお願いいたします。
- ・ ハードディスクを高温・高湿度の環境で使用すると、寿命を縮める原因となります。湿球温度29 以下での使用を推奨します。この条件は、例えば気温35 で湿度64%RH、40 で44%RH程度に相当します。

2 ハードディスクユニットの設定

PL-HD220 は出荷時にスレーブ設定となっていますが、PL-HD220 をマスタドライブとしてご使用の場合は、PL-HD220を以下のように設定してください。



- 重要** ・ PL に組み込まれて出荷されたハードディスク、およびフラッシュファイルディスクは、出荷時設定をマスターにしています。本ユニット(PL-HD220)とを併用してご使用の際には本ユニットをスレーブとして設定してください。
- ・ 上記以外のジャンパープラグの設定では使用しないでください。破損の原因となります。

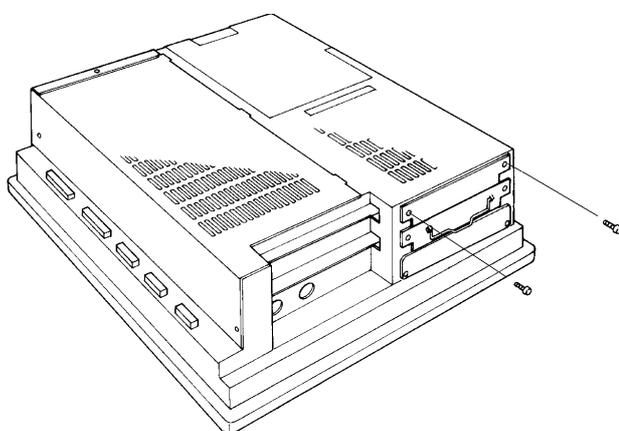
3 PL-HD220 の着脱

以下の方法で PL-HD220 を PL へ取り付けてください。なお、説明で使われている絵は、PL-X900 シリーズですが、手順は PL-5900 シリーズおよび PL-X920 シリーズも同様です。

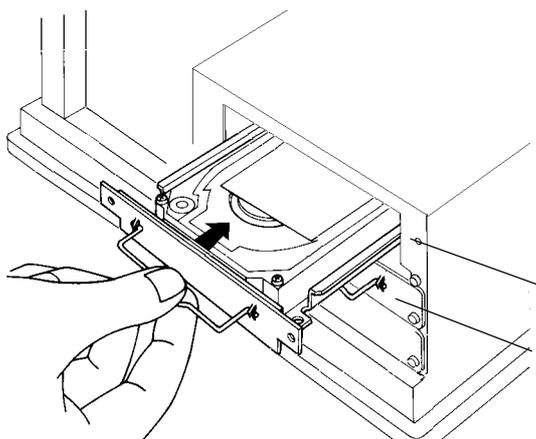
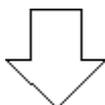
警告

- ・ 感電の恐れがありますので、必ず PL の電源を切ってから作業を行ってください。

重要 ・ PL-HD220 は衝撃に弱い精密機器ですので、取り付け・取り外しの際は衝撃を与えないよう十分ご注意ください。



「拡張スロット1」のネジ(2カ所)を外し、ブランクパネルを取り外します。



PL-HD220 の取手を持ち、ガイドレールに沿うように PL に挿入し、コネクタが完全に接続されるよう差し込みます。

拡張スロット 1

拡張スロット 0

ネジ(2カ所)で固定します。



MEMO ・ 「拡張スロット0」への取り付けも、同様の手順で行います。

4 ハードウェアセットアップ

- 重要** ・ 通常は、出荷時設定(初期設定)で使用してください。
・ BIOS画面はバージョンアップにより変更になる場合があります。



- ・ 以下の全説明画面は、出荷時設定(初期設定)画面です。

PL-X900 シリーズの場合

PL にキーボードを接続します。

PL の電源を ON します。

画面左下 "Press to Enter SETUP" のメッセージが表示されたら、[DEL]キーを押し続けます。

セットアップユーティリティが起動します。メニューより "STANDARD COMS SETUP" 画面を選択してください。以下の画面が表示されます。

| | | | | | | |
|---|-------|-------|---------|------------------------|---------|------|
| ROM PCI/ISA BIOS(2A5LEU1C) STANDARD CMOS SETUP AWARD SOFTWARE, INC. | | | | | | |
| Date (mm:dd:yy): Wed, Jul 2 1998 | | | | | | |
| Time (hh:mm:ss): 14 : 50 : 3 | | | | | | |
| | CYLS. | HEADS | PRECOMP | LANDZONE | SECTORS | MODE |
| Drive C:Auto(0Mb) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | AUTO |
| Drive D:Auto(0Mb) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | AUTO |
| Drive A:1.44M,3.5 in. | | | | Base Memory : 640K | | |
| Video : EGA/VGA | | | | Extended Memory:31744K | | |
| VGA_Text Mode:Normal | | | | Other Memory : 384K | | |
| Halt On : All, But Keyboard | | | | Total Memory :32768K | | |
| ESC : Quit : Select Item PU/PD/+/-: Modify | | | | | | |
| F1 : Help (Shift)F2 : Change Color | | | | | | |

キー操作一覧

セットアップで使用するキーの一覧です。

ヘルプ表示エリア

カーソルを合わせた項目の詳細が表示されます。

システム設定エリア

各メニューで設定するシステム項目が表示されます。

Drive C/Drive D 共に [Auto] が選択されているか確認してください。[Auto] が選択されていない場合は [Auto] を選択してください。[Auto] が選択されていると起動時にハードディスクのパラメータを読み取って自動的に設定されます。出荷時の設定は [Auto] です。通常、出荷時の設定でご使用ください。

[ESC] キーを押して [SAVE&EXIT SETUP] を選択し、保存終了してください。

PL-5900/PL-X920 シリーズの場合

PL にキーボードを接続します。

PL の電源を ON します。

画面左下 "Press to Enter SETUP" のメッセージが表示されたら、[D E L] キーを押し続けます。セットアップユーティリティが起動します。メニューより「Standard COMS Setup」画面にて [IDE Primary Master]、または [IDE Primary Slave] を選択してください。以下の画面が表示されます。

| CMOS Setup Utility - Copyright (C) 1984-2000 Award Software | | Item Help |
|---|-------------|--|
| IDE Primary Master | | Menu Level ▶▶ To auto-detect the HDD's size, head...on this channel |
| IDE HDD Auto-Detection | Press Enter | |
| IDE Primary Master | Auto | |
| Access Mode | Auto | |
| Capacity | 0 MB | |
| Cylinder | 0 | |
| Head | 0 | |
| Precomp | 0 | |
| Landing Zone | 0 | |
| Sector | 0 | |
| :Move Enter:Select +/-/PU/PD:Value F10:Save ESC:Exit F1:General Help F5:Previous Values F6:Fail-Safe Defaults F7:Optimized Defaults | | |

IDE Primary Master/IDE Primary Slave 共に [Auto] が選択されているか確認してください。[Auto] が選択されていない場合は [Auto] を選択してください。[Auto] が選択されていると起動時にディスクのパラメータを読み取って自動的に設定されます。出荷時の設定は [Auto] です。通常、出荷時の設定でご使用ください。
(ハードディスクと併用の場合。)

[ESC]キーを押して[Save & Exit Setup]を選択し、保存終了してください。

5 ソフトウェアセットアップ

ハードウェアセットアップの後、実際にハードディスクにデータや、アプリケーションを記録する為には、使用するオペレーティングシステム (MS-DOS® や Windows® 等) でパーティション (記録区画) の作成とフォーマット (初期化) が必要です。ご使用になるオペレーティングシステムの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害および免失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。